

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-28194

(43) 公開日 平成10年(1998) 1月27日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/00	1 0 4		H 0 4 N 1/00	1 0 4 A
H 0 4 Q 7/38			H 0 4 J 3/08	A
H 0 4 J 3/08			H 0 4 B 7/26	1 0 9 M

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平8-182997

(22) 出願日 平成8年(1996) 7月12日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 松本 亘

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 兼安 博司

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

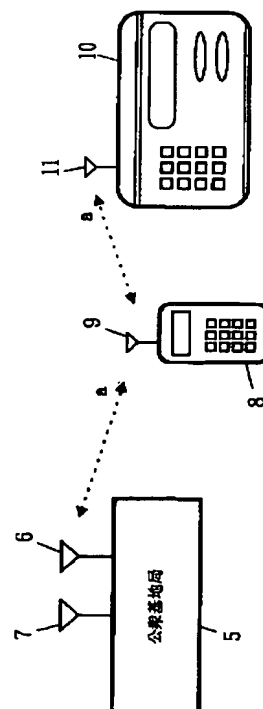
(74) 代理人 弁理士 滝本 智之 (外1名)

(54) 【発明の名称】 無線ファクシミリ受信方法及び無線ファクシミリ受信システム

(57) 【要約】

【課題】 移動体通信端末とファクシミリ機能付き受発信装置とを有線接続していなくても常にファクシミリデータが受信される無線ファクシミリ受信方法を提供することを目的とする。

【解決手段】 移動体通信端末8が公衆基地局5とファクシミリ機能付き受発信装置10との間で時分割多重アクセス方式を用いて無線通信を行うシステムでの無線ファクシミリ受信方法であって、公衆基地局を介して送信されてきたファクシミリデータaを移動体通信端末で受信する受信ステップと、公衆基地局との通信に使用していない時分割スロットを用いて受信したファクシミリデータaをファクシミリ機能付き受発信装置に送信する送信ステップとを有することにより、移動体通信端末とファクシミリ機能付き受発信装置とを有線接続していなくても常にファクシミリデータが受信される無線ファクシミリ受信方法が得られる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】移動体通信端末と公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置とを有し、前記移動体通信端末が前記公衆基地局と前記ファクシミリ機能付き受発信装置との間で時分割多重アクセス方式を用いて無線通信を行うシステムにおける無線ファクシミリ受信方法であって、前記公衆基地局を介して送信されてきたファクシミリデータを前記移動体通信端末で受信する受信ステップと、前記公衆基地局との通信に使用していない時分割スロットを用いて前記受信したファクシミリデータを前記ファクシミリ機能付き受発信装置に送信する送信ステップとを有する無線ファクシミリ受信方法。

【請求項2】移動体通信端末と公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置とを有し、前記移動体通信端末が前記公衆基地局と前記ファクシミリ機能付き受発信装置との間で時分割多重アクセス方式を用いて無線通信を行うシステムにおける無線ファクシミリ受信方法であって、前記公衆基地局を介して送信されてきたファクシミリデータを前記移動体通信端末で受信する受信ステップと、前記受信したファクシミリデータの全てを前記移動体通信端末内のメモリに一時的に保持する保持ステップと、前記一時的に保持したファクシミリデータを前記ファクシミリ機能付き受発信装置に送信する送信ステップとを有する無線ファクシミリ受信方法。

【請求項3】複数の移動体通信端末と公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置とを有し、前記移動体通信端末が前記公衆基地局と前記ファクシミリ機能付き受発信装置との間で時分割多重アクセス方式を用いて無線通信を行うシステムにおける無線ファクシミリ受信方法であって、前記公衆基地局を介して送信されてきたファクシミリデータを前記複数の移動体通信端末のうちの一つで受信する受信ステップと、前記公衆基地局との通信に使用していない時分割スロットを用いて前記受信したファクシミリデータを前記ファクシミリ機能付き受発信装置に送信する送信ステップとを有する無線ファクシミリ受信方法。

【請求項4】移動体通信端末と公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置とを有し、前記移動体通信端末が前記公衆基地局と前記ファクシミリ機能付き受発信装置との間で時分割多重アクセス方式を用いて無線通信を行う無線ファクシミリ受信システムであって、前記ファクシミリ機能付き受発信装置は電波を受信する第1のアンテナを有し、前記移動体通信端末は電波を送受信する第2のアンテナと、受信ファクシミリデータを復調する復調部と、前記復調部で復調して得られる復調ファクシミリデータを一時的に記憶するメモリと、前記メモリに記憶された復調ファクシミリデータを変調する変調部と、受信時は前記第2のアンテナと前記復調部とを接続し、送信時は前記第2のアンテナと前記変調部とを接続するスイッチ部と、前記復調部と前記メモリと前記変調部と

前記スイッチ部とを制御する制御部とを有する無線ファクシミリ受信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、移動体通信で用いられる無線ファクシミリ受信方法および移動体通信を行う無線ファクシミリ受信システムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、移動体通信は急速な発展を遂げている。このため、移動体通信を利用したファクシミリ通信が注目されている。

【0003】図5は従来の無線ファクシミリ受信システムにおける構成図である。図5において、1は公衆基地局、2は移動体通信端末、3は専用ケーブル、4はファクシミリ機能付き受発信装置である。

【0004】以上のように構成された無線ファクシミリ受信システムにおける無線ファクシミリ受信方法について説明する。ファクシミリデータaは公衆基地局1から無線を利用して移動体通信端末2に送信される。移動体通信端末2で受信されたファクシミリデータaは移動体通信端末2で復調される。移動体通信端末2は、上記復調されたファクシミリデータを専用ケーブル3を介してファクシミリ機能付き受発信装置4に送信する。ファクシミリ機能付き受発信装置4はファクシミリデータをプリントアウトするか又はメモリに保持する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の無線ファクシミリ受信方法および無線ファクシミリ受信システムでは、移動体通信端末2がファクシミリデータaを受信するときにファクシミリ機能付き受発信装置4と専用ケーブル3で接続されていないと、ファクシミリ機能付き受発信装置4は復調ファクシミリデータを受信することができないので、ファクシミリデータを常に受信可能にするためには常に移動体通信端末2とファクシミリ機能付き受発信装置4とを専用ケーブル3で接続していなければならないという問題点を有していた。

【0006】この無線ファクシミリ受信方法および無線ファクシミリ受信システムでは、移動体通信端末とファクシミリ機能付き受発信装置とを有線接続していなくても常にファクシミリデータを受信できることが要望されている。

【0007】本発明は、移動体通信端末とファクシミリ機能付き受発信装置とを有線接続していなくても常にファクシミリデータが受信される無線ファクシミリ受信方法、および、移動体通信端末とファクシミリ機能付き受発信装置とを有線接続していなくても常にファクシミリデータを受信できる無線ファクシミリ受信システムを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】この課題を解決するため

3

に本発明による無線ファクシミリ受信方法は、移動体通信端末と公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置とを有し、移動体通信端末が公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置との間で時分割多重アクセス方式を用いて無線通信を行うシステムにおける無線ファクシミリ受信方法であって、公衆基地局を介して送信されてきたファクシミリデータを移動体通信端末で受信する受信ステップと、公衆基地局との通信に使用していない時分割スロットを用いて受信したファクシミリデータをファクシミリ機能付き受発信装置に送信する送信ステップとを有するように構成したものである。

【0009】これにより、移動体通信端末とファクシミリ機能付き受発信装置とを有線接続していなくても常にファクシミリデータが受信される無線ファクシミリ受信方法が得られる。

【0010】

【発明の実施の形態】本発明の請求項1に記載の発明は、移動体通信端末と公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置とを有し、移動体通信端末が公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置との間で時分割多重アクセス方式を用いて無線通信を行うシステムにおける無線ファクシミリ受信方法であって、公衆基地局を介して送信されてきたファクシミリデータを移動体通信端末で受信する受信ステップと、公衆基地局との通信に使用していない時分割スロットを用いて受信したファクシミリデータをファクシミリ機能付き受発信装置に送信する送信ステップとを有することとしたものであり、公衆基地局からのファクシミリデータは通信に使用していない時分割スロットを用いて移動体通信端末を介してファクシミリ機能付き受発信装置に送信されるという作用を有する。

【0011】請求項2に記載の発明は、移動体通信端末と公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置とを有し、移動体通信端末が公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置との間で時分割多重アクセス方式を用いて無線通信を行うシステムにおける無線ファクシミリ受信方法であって、公衆基地局を介して送信されてきたファクシミリデータを移動体通信端末で受信する受信ステップと、受信したファクシミリデータの全てを移動体通信端末内のメモリに一時的に保持する保持ステップと、一時的に保持したファクシミリデータをファクシミリ機能付き受発信装置に送信する送信ステップとを有することとしたものであり、移動体通信端末内のメモリに一時的に保持されたファクシミリデータがファクシミリ機能付き受発信装置に送信されるという作用を有する。

【0012】請求項3に記載の発明は、複数の移動体通信端末と公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置とを有し、移動体通信端末が公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置との間で時分割多重アクセス方式を用いて無線通信を行うシステムにおける無線ファクシミ

4

リ受信方法であって、公衆基地局を介して送信されてきたファクシミリデータを複数の移動体通信端末のうちのひとつで受信する受信ステップと、公衆基地局との通信に使用していない時分割スロットを用いて受信したファクシミリデータをファクシミリ機能付き受発信装置に送信する送信ステップとを有することとしたものであり、公衆基地局からファクシミリ機能付き受発信装置へのファクシミリデータの送信が複数の移動体通信端末のうちのひとつの移動体通信端末を介して行われるという作用を有する。

【0013】請求項4に記載の発明は、移動体通信端末と公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置とを有し、移動体通信端末が公衆基地局とファクシミリ機能付き受発信装置との間で時分割多重アクセス方式を用いて無線通信を行う無線ファクシミリ受信システムであって、ファクシミリ機能付き受発信装置は電波を受信する第1のアンテナを有し、移動体通信端末は電波を送受信する第2のアンテナと、受信ファクシミリデータを復調する復調部と、復調部で復調して得られる復調ファクシミリデータを一時的に記憶するメモリと、メモリに記憶された復調ファクシミリデータを変調する変調部と、受信時は第2のアンテナと復調部とを接続し、送信時は第2のアンテナと変調部とを接続するスイッチ部と、復調部とメモリと変調部とスイッチ部とを制御する制御部とを有することとしたものであり、メモリに記憶された復調ファクシミリデータが適当な時期に変調されて第2のアンテナから送信され、第1のアンテナで受信されるという作用を有する。

【0014】以下、本発明の実施の形態について、図1～図4を用いて説明する。

(実施の形態1) 図1は、本発明の実施の形態1における無線ファクシミリ受信システムを示す構成図である。図1において、5は公衆基地局、6、7は公衆基地局5のアンテナ、8は移動体通信端末、9は移動体通信端末8のアンテナ(第2のアンテナ)、10はファクシミリ機能付き受発信装置、11はファクシミリ機能付き受発信装置10のアンテナ(第1のアンテナ)である。図1に示すように、公衆基地局5は移動体通信端末8との間でアンテナ6、9を介して無線により通信を行い、移動体通信端末8はアンテナ9、11を介して無線によりファクシミリ機能付き受発信装置10と通信を行う。

【0015】以上のように構成された無線ファクシミリ受信システムについて、その動作を図2を用いて説明する。図2は移動体通信端末のタイムスロットの一部を示すタイムスロット図である。図2に示すタイムスロットは、TDMA-TDD(時分割多重アクセス-時分割双方向)方式のものである。移動体通信端末送信フレーム16は、公衆基地局間送信スロット12とファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13と通信に使用しないスロット18とで構成されている。また、移動体通

5

信端末受信フレーム17は、公衆基地局間受信スロット14とファクシミリ機能付き受発信装置間受信スロット15と通信に使用しないスロット18とで構成されている。

【0016】ここで図2を用いて説明する動作は、移動体通信端末8が公衆基地局5から受信したファクシミリデータaを通信に使用していないスロットを使用してファクシミリ機能付き受発信装置10に対して送信する動作である。

【0017】ファクシミリデータaを送信する前にまず、ファクシミリの各伝送制御信号を通信する。移動体通信端末8が無線により公衆基地局5からの伝送制御信号を認識すると、移動体通信端末8と公衆基地局5とが、ファクシミリ機能付き受発信装置10と通信を行うスロットを伝送制御信号の通信に使用されていないスロットから移動体通信端末送信フレーム16内で探し始める。移動体通信端末8または公衆基地局5が通信に使用されていないスロットを決定すると、その決定したスロットを使用して移動体通信端末8とファクシミリ機能付き受発信装置10とで無線によりファクシミリの各伝送制御信号の通信を始める。

【0018】ファクシミリ機能付き受発信装置10がファクシミリデータaの受信可能となり、移動体通信端末8と公衆基地局5とのファクシミリの各伝送制御信号の通信が終了しているとき、移動体通信端末8は公衆基地局5にファクシミリデータaの送信を要求する信号を送信する。公衆基地局5は、移動体通信端末8との間でファクシミリの各伝送制御信号の通信を行っていた公衆基地局間送信スロット12と公衆基地局間受信スロット14とを使用して、ファクシミリデータaを移動体通信端末8に無線により送信する。移動体通信端末8は、ファクシミリデータaを受信すると（受信ステップ）、ファクシミリデータaを復調せず、ファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13にタイミングを合わせるように遅延を行うか、ファクシミリデータaを一度復調してメモリ（図示せず）に蓄積し、その後ファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13にタイミングを合わせるように変調を行う。

【0019】移動体通信端末8は、上記遅延されたファクシミリデータaまたは上記変調されたファクシミリデータaを、ファクシミリ機能付き受発信装置10との間でファクシミリの各伝送制御信号の通信に使用していたファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13、ファクシミリ機能付き受発信装置間受信スロット15

（上記決定したスロット）を使用して、ファクシミリ機能付き受発信装置10に無線により送信する（送信ステップ）。ファクシミリ機能付き受発信装置10は、受信したファクシミリデータaの復調を行い、復調したファクシミリデータの印字またはメモリ記憶を行う。

【0020】ファクシミリ機能付き受発信装置10がフ

6

ァクシミリデータaを受信し終わると、ファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13とファクシミリ機能付き受発信装置間受信スロット15とを使用して通信を終了し、その後、公衆基地局間送信スロット12と公衆基地局間受信スロット14とを使用して公衆基地局5と移動体通信端末8との通信を終了する。

【0021】以上のように本実施の形態によれば、公衆基地局5からのファクシミリデータaを通信に使用していないファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13、ファクシミリ機能付き受発信装置間受信スロット15を用いて移動体通信端末8を介してファクシミリ機能付き受発信装置10に送信するようにしたので、移動体通信端末8とファクシミリ機能付き受発信装置10とが有線接続していなくても常にファクシミリデータaを移動体通信端末8で受信してファクシミリ機能付き受発信装置10に送信することができる。

【0022】（実施の形態2）図3は、本発明の実施の形態2における無線ファクシミリ受信システムを構成する移動体通信端末を示すブロック図である。図3において、9は電波を送受信するアンテナ、19は後述の復調部20と変調部22との切換えを行うスイッチ部、20はファクシミリデータaを復調する復調部、21は復調したファクシミリデータaを保持するメモリ、22はメモリ21に保持しているファクシミリデータaを変調する変調部、23はスイッチ部19と復調部20とメモリ21と変調部22との制御を行う制御部である。

【0023】次に、以上のように構成された移動体通信端末8が公衆基地局5から受信したファクシミリデータaをファクシミリ機能付き受発信装置10にメモリ21を使用して送信する動作を説明する。制御部23によりスイッチ部19が復調部20側に切り換わり、公衆基地局5からのファクシミリデータaを移動体通信端末8が無線により受信すると（受信ステップ）、ファクシミリデータaは復調部20で復調される。復調されたファクシミリデータaは制御部23によりメモリ21に保持される（保持ステップ）。ファクシミリデータaを全てメモリ21に保持し終わると、公衆基地局5と移動体通信端末8とのファクシミリデータaの通信は終了する。

【0024】公衆基地局5と移動体通信端末8との通信が終了すると、移動体通信端末8は、ファクシミリ機能付き受発信装置10と通信可能であるかを制御チャネル（伝送制御信号を通信するファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13、ファクシミリ機能付き受発信装置間受信スロット15）を利用して調べる。通信不可能な場合には、ファクシミリ機能付き受発信装置10と通信が可能となるまでファクシミリデータaをメモリ21に保持する（保持ステップ）。ファクシミリ機能付き受発信装置10と通信可能な場合には、移動体通信端末8はファクシミリ機能付き受発信装置10と無線により通信を開始する。ファクシミリ機能付き受発信装置10

7

が受信可能になると、メモリ21に保持されていたファクシミリデータaは変調部22で変調される。制御部23は、スイッチ部19を変調部22側に切り換えてファクシミリデータaをファクシミリ機能付き受発信装置10に送信する(送信ステップ)。

【0025】以上のように本実施の形態によれば、移動体通信端末8内のメモリ21に一時的に保持されたファクシミリデータaをファクシミリ機能付き受発信装置10が通信可能となったときにファクシミリ機能付き受発信装置10に送信するようにしたので、移動体通信端末8とファクシミリ機能付き受発信装置10とが有線接続していなくても常にファクシミリデータaを移動体通信端末8で受信してファクシミリ機能付き受発信装置10に送信することができると共に、ファクシミリ機能付き受発信装置10に送信する場合に一時的に移動体通信端末8のメモリ21に保持することにより、ファクシミリ機能付き受発信装置10が通信可能となったときにファクシミリ機能付き受発信装置10に送信することができ、通信の効率化を図ることができる。

【0026】(実施の形態3)図4は、本発明の実施の形態3における無線ファクシミリ受信システムを示す構成図である。図4において、24は公衆基地局、25～27は移動体通信端末、28はファクシミリ機能付き受発信装置である。図4に示すように、公衆基地局24は移動体通信端末25～27と無線により通信を行うことができ、また、移動体通信端末25～27はそれぞれ、共用するファクシミリ機能付き受発信装置28と無線により通信を行うことができる。

【0027】以上のように構成された無線ファクシミリ受信システムについて、移動体通信端末25～27の1つが、公衆基地局24から受信したファクシミリデータaを通信に使用していないスロットを使用してファクシミリ機能付き受発信装置28に送信する動作を図2を用いて説明する。

【0028】ファクシミリデータaを送信する前にまず、ファクシミリの各伝送制御信号を通信する。移動体通信端末25～27の1つ、図4では移動体通信端末25が無線により公衆基地局24からのファクシミリの各伝送制御信号を認識すると、移動体通信端末25と公衆基地局24とが、ファクシミリ機能付き受発信装置28と通信を行うスロットを、ファクシミリの各伝送制御信号通信に使用されていないスロットから移動体通信端末送信フレーム16内で探し始める。移動体通信端末25と公衆基地局24とが通信に使用されていないスロットを決定すると、その決定したスロットを使用して移動体通信端末25とファクシミリ機能付き受発信装置28とで無線によりファクシミリの各伝送制御信号通信を始める。

【0029】ファクシミリ機能付き受発信装置28がファクシミリデータの受信可能となり、移動体通信端末2

8

5と公衆基地局24とのファクシミリの各伝送制御信号の通信が終了しているとき、移動体通信端末25は公衆基地局24にファクシミリデータaの送信を要求する信号を送信する。公衆基地局24は、移動体通信端末25とファクシミリの各伝送制御信号の通信を行っていた公衆基地局間送信スロット12と公衆基地局間受信スロット14とを使用して、ファクシミリデータaを移動体通信端末25に無線により送信する。移動体通信端末25は、ファクシミリデータaを受信すると(受信ステップ)、ファクシミリデータaを復調せず、ファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13にタイミングを合わせるように遅延を行うか、ファクシミリデータaを一度復調してメモリ21(図3参照)に蓄積し、その後ファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13にタイミングを合わせるように変調を行う。

【0030】移動体通信端末25は、上記遅延されたファクシミリデータaまたは上記変調されたファクシミリデータaを、ファクシミリ機能付き受発信装置28との間でファクシミリの各伝送制御信号の通信に使用していたファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13、ファクシミリ機能付き受発信装置間受信スロット15(上記決定したスロット)を使用して、ファクシミリ機能付き受発信装置28に無線により送信する(送信ステップ)。ファクシミリ機能付き受発信装置28は、受信したファクシミリデータaの復調を行い、復調したファクシミリデータの印字またはメモリ記憶を行う。

【0031】ファクシミリ機能付き受発信装置28がファクシミリデータaを受信し終わると、ファクシミリ機能付き受発信装置間送信スロット13とファクシミリ機能付き受発信装置間受信スロット15とを使用して通信を終了し、その後、公衆基地局間送信スロット12と公衆基地局間受信スロット14とを使用して公衆基地局24と移動体通信端末25との通信を終了する。

【0032】以上のように本実施の形態によれば、公衆基地局24からファクシミリ機能付き受発信装置28へのファクシミリデータaの送信を複数の移動体通信端末25～27のうちの1つの移動体通信端末25で行うようにしたので、移動体通信端末25とファクシミリ機能付き受発信装置28とが有線接続していなくても常にファクシミリデータaを移動体通信端末25で受信してファクシミリ機能付き受発信装置28に送信することができると共に、複数の移動体通信端末25～27のうちの1つの移動体通信端末25によりファクシミリデータaをファクシミリ機能付き受発信装置28に送信することができるので、多忙な移動体通信端末を避けて、空いている移動体通信端末により通信を行うことができる。

【0033】

【発明の効果】以上のように本発明の無線ファクシミリ受信方法によれば、公衆基地局からのファクシミリデータを通信に使用していない時分割スロットを用い移動体

通信端末を介してファクシミリ機能付き受発信装置に送信することができるので、移動体通信端末とファクシミリ機能付き受発信装置とを有線接続していなくても常にファクシミリデータが受信されるという有利な効果が得られる。

【0034】また、移動体通信端末内のメモリに一時的に保持されたファクシミリデータをファクシミリ機能付き受発信装置が通信可能なときに送信することができるので、移動体通信端末とファクシミリ機能付き受発信装置とを有線接続していなくても常にファクシミリデータが受信されるという有利な効果が得られる。しかも、移動体通信端末内のメモリに記憶したファクシミリデータを送信するので、通信の効率化が図れるという有利な効果が得られる。

【0035】さらに、公衆基地局からファクシミリ機能付き受発信装置へのファクシミリデータの送信を複数の移動体通信端末のうちの一つの移動体通信端末を介して行うことができるので、移動体通信端末とファクシミリ機能付き受発信装置とを有線接続していなくても常にファクシミリデータが受信されると共に、多忙な移動体通信端末を避けて空いている移動体通信端末により通信を行うことができるという有利な効果が得られる。

【0036】また、以上のように本発明の無線ファクシミリ受信システムによれば、メモリに記憶された復調ファクシミリデータを適当な時期に変調して第2のアンテナから送信することができるので、移動体通信端末とファクシミリ機能付き受発信装置とを有線接続していなくても常にファクシミリデータが受信されると共に、移動

体通信端末内のメモリに記憶したファクシミリデータを送信するので、通信の効率化が図れるという有利な効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1における無線ファクシミリ受信システムを示す構成図

【図2】移動体通信端末のタイムスロットの一部を示すタイムスロット図

【図3】本発明の実施の形態2における無線ファクシミリ受信システムを構成する移動体通信端末を示すブロック図

【図4】本発明の実施の形態3における無線ファクシミリ受信システムを示す構成図

【図5】従来の無線ファクシミリ受信システムにおける構成図

【符号の説明】

5、24 公衆基地局

6、7 アンテナ

8、25～27 移動体通信端末

9 アンテナ（第2のアンテナ）

10、28 ファクシミリ機能付き受発信装置

11 アンテナ（第1のアンテナ）

19 スイッチ部

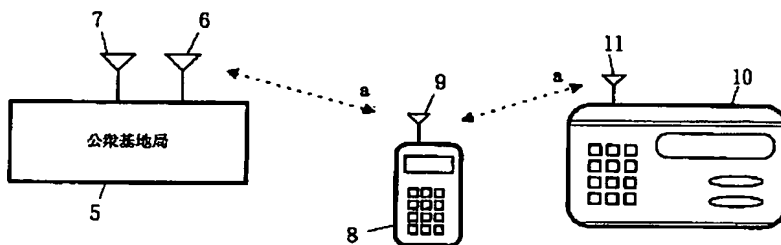
20 復調部

21 メモリ

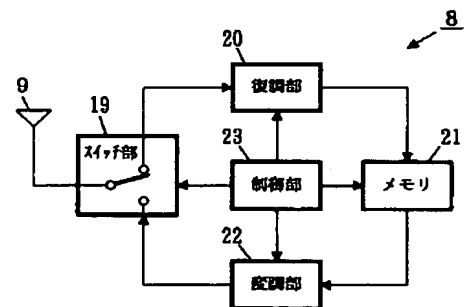
22 変調部

23 制御部

【図1】



【図3】



The diagram illustrates a multi-channel system with two parallel processing paths. The top path is labeled 16 and contains a sequence of blocks: a dark block 12, a light block 13, and a white block 18. The bottom path is labeled 17 and contains a sequence of blocks: a dark block 14, a light block 15, and a white block 18. Both paths are connected to a common output line on the right, indicated by an arrow. Ellipses (...) within the blocks indicate that each path can contain multiple such blocks.